

令和8年（2026年）2月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（1日目）

令和8年2月19日（木）

※1人当たり15分間（答弁を除く）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	宇根良也 (無所属クラブ) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 環境行政について 2 消防行政について 3 公園行政について	(1) 本市が現在実施している猫の糞尿被害等に関する事業内容とそれらの取組は、糞尿被害の軽減という点でどのような効果を上げていると認識しているか伺う (2) 猫の糞尿被害等に関する相談件数の推移及び苦情処理の体制はどのようになっているか。また、餌やりを行う方と被害を受ける住民との間で生じる課題に対し、本市として今後どのように対応していく考えか伺う (3) 保護猫等の一時保護や譲渡につなげる体制整備について、本市としてどのように考えているか見解を伺う (1) 今回、本市が実施したサウナ施設に対する査察の内容及び対象施設の範囲について伺う (2) 査察の結果、安全面において確認された課題や、是正指導を行った事例があったのか、また、今回の査察を踏まえ、今後、同様の事故を未然に防ぐため、どのように安全対策を継続・強化していく考えか、市の見解を伺う (1) 小学校区ごとの公園整備状況と、ボール遊びや自転車の練習などが可能な公園の割合について伺う (2) 学校運動場の時間帯限定開放について、検討の余地があるか伺う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 部活動の地域展開について	<p data-bbox="727 297 1434 376">部活動の地域展開について、次年度のスケジュールを伺う</p> <p data-bbox="746 1921 1283 2000">【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和8年2月19日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	<p>前泊 美紀 (無所属)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>(1) 知念覚市長が掲げた選挙公約について、着手率と達成率、主な成果と課題などの進捗状況を問う</p> <p>(2) 令和8年度施政方針から、以下を問う</p> <p>① (子どもが羽ばたく後押しを) の中で、「子どもたちが) その力を伸ばせるよう、子どもたちが自らの夢を見つけ、熱中し、挑戦し続けることができる環境づくりに努めます」とある 子どもたちの部活動等支援について、以下、本市の取組と課題を問う</p> <p>(ア) 体験格差への支援</p> <p>(イ) 高校生の部活動等への支援</p> <p>② (自らの力で未来を拓く子ども達を応援するまちづくり) の中で、「こどもは権利の主体者であり、それを有していることへの理解を深めてもらうため、こどもや大人へ向け、「こどもの権利」についての周知広報を実施します」とある 「(仮称) 那覇市こどもの権利条例」について、以下を問う</p> <p>(ア) 立法事実をどう捉えているか</p> <p>(イ) 相談救済機関の設置</p> <p>(ウ) 学校現場など教育委員会との連携</p> <p>③ (効率的で効果的な行財政運営を行う) の中で、「統一的な基準による地方公会計における財務書類等の作成を委託することにより、データを活用した財政分析に注力し、本市の健全な財政運営を推進します」とある 期待できる具体的な効果と課題について問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		2 効率的で効果的な財政運営について	<p data-bbox="735 297 1430 376">本市における基金運用の取組と課題等について問う</p> <p data-bbox="746 1944 1251 2022">【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>上原 仙子 (みんなの協働!)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 協働による まちづくり</p>	<p>「那覇市地域づくり推進方針」の策定が進められている。中でも「まちづくり協議会」については、市民の思いや声を受けとめ、対話を重ねながら地域の力を引き出す存在であり、本市としては、市民が主役のまちづくり協議会の取組みに寄り添い、ともに歩む伴走者であることが大切だとしている</p> <p>厚生経済常任委員会では先月、明石市の「協働のまちづくり推進事業」を視察し、条例による明確な位置付け、安定的な財源確保、中間支援機能や人的支援を組み合わせた制度設計について知見を得た。これらを踏まえ、本市における協働のまちづくり推進体制について、以下伺う</p> <p>(1) 現在、まちづくり協議会を支援するにあたり、行政担当課が担っているコーディネート機能について、本市はその役割と課題をどのように認識しているか伺う</p> <p>(2) 地域活動を円滑に進めるためには、多様な主体間の合意形成、組織間連携の調整、事業推進支援を担う専門的なコーディネーターの存在が不可欠である。今後、コーディネーターの確保および育成をどのような方針と体制で進めていく考えか伺う</p> <p>(3) 地域活動の持続性を高める観点から、行政とは一定の距離を保った中間支援組織の育成・確保が必要と考えるが、本市の見解を伺う</p> <p>(4) 地域活動停滞の要因の一つに、役員等への事務負担の集中があると考え。持続可能な運営体制を構築するため、事務支援やデジタル活用等を含め、どのような負担軽減策を検討しているか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>2 那覇市給付型奨学金事業について</p> <p>3 漁業の就労支援について</p> <p>4 防災行政について</p>	<p>本市の給付型奨学金事業は、経済的理由により進学・修学が困難な学生を支援する重要な施策である。一方で、制度運用上の課題も指摘されている。以下について伺う</p> <p>(1) 本事業の目的、対象要件、給付内容及びこれまでの実績について</p> <p>(2) 前年度所得が基準を超過した場合、給付が停止される事例があると承知している。直近3年間において、所得基準超過により給付が停止された人数について伺う</p> <p>(3) 経済的困窮の実態が大きく変わらないにもかかわらず、わずかな所得基準超過により制度上の「所得の壁」により支援対象外となる学生に対し、どのような救済策や柔軟な運用を検討しているかを伺う</p> <p>本市における漁業は、地域経済及び食文化を支える重要な産業であるが、担い手不足と高齢化が課題となっている。以下について伺う</p> <p>(1) 本市における漁業就業者数の推移と年齢構成について</p> <p>(2) 現在実施している漁業就労支援策の具体的内容と、その成果について</p> <p>自主防災組織は、地域防災力の向上を図る上で重要な取組であると認識しているが、現在の取組状況を伺う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和8年2月19日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>立津 伸城 (公明党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 密集住宅市街地再生方針について</p> <p>2 公園行政について</p> <p>3 識名公園整備事業について</p> <p>4 特殊詐欺について</p>	<p>「密集住宅市街地の整備改善に向けた取組」について、モデル地区の識名1丁目で地域の意見交換会が開かれている 以下伺う</p> <p>(1) 意見交換会の具体的な内容と参加者から寄せられた意見や問題点について伺う</p> <p>(2) 識名1丁目密集地内における家電の不法投棄の現状について本市の対応を伺う</p> <p>(3) 今後の意見交換開催日程、そして地域住民への周知をどのように進めていくか伺う</p> <p>(1) 大石公園内バスケットコート雨天時の水はけ整備について排水機能の改善を検討するとのことであったが進捗状況を伺う</p> <p>(2) 公園でのスポーツ活動やボランティア活動が地域社会へ与える影響は何か本市の見解を伺う</p> <p>(3) 大石公園内における有料駐車場の利用状況を伺う</p> <p>(4) 災害における公園の役割について伺う</p> <p>識名公園整備事業の概要、進捗状況、今後の整備計画及び課題について伺う</p> <p>2025年の県内における特殊詐欺被害額が32億円に達し、極めて危機的な状況にあると報道されている。この状況を受けて、本市として、特殊詐欺の被害額や被害件数について把握しているか、また、どのような対策を講じているのか伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和8年2月19日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	普久原あさひ (立憲民主・ニライ) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質問方式</div> 一問一答方式 (質問席のみ)	1 文化芸術について 2 防災及び地域まちづくり行政について 3 宿泊税について 4 こどもの権利条例について	<p> 昨年は戦後 80 年の節目であったが文化芸術分野において実施した取組及び成果を踏まえ、施政方針において「本市にゆかりある芸術家と創造活動に取り組み、市民が多彩な文化芸術に触れる機会やあらゆる世代の交流を促進し、市民の創造性を育むことで、引き続き、多様性に寛容な社会の実現及び文化芸術活動が常に展開する魅力あるまちを目指します」と述べている点について、次年度は具体的にどのような取組を行うのか、また昨年度の取組と成果をどのように検証し次年度の施策に反映させるのか伺う </p> <p> (1) 内閣府は昨年(2025年)12月24日に「災害時においてホテル・旅館等を避難所として活用する際のガイドライン」を公表し自治体に活用を促している。ガイドラインの概要及び、宿泊施設の多い那覇市の役割について伺う </p> <p> (2) 「那覇市女性防火クラブ」の設置の背景と概要(役割)及び取組について伺う </p> <p> (3) 「那覇市地域づくり推進方針(案)」が出されており、1月28日から2月27日までパブリックコメントが行われている。推進方針案についての概要を伺う </p> <p> (4) 「中心市街地商業等振興計画」の策定の取組について伺う </p> <p> 2月13日の総務省の同意により、沖縄県と県内5市町村は2027年2月1日からの導入が決まった。那覇市の宿泊税の用途について伺う </p> <p> 制定に向けてこれまでどのように取り組んだのか、パブリックコメントやこども政策審議会等ではどのような意見があり、今後どのように進めるのか伺う </p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 教育行政及びガバナンスについて</p> <p>6 環境及び水道行政について</p>	<p>(1) 総合的な学習の時間等で外部講師を招く際、テーマ設定、講師選定、実施決定のプロセスはどうなっているか。市教委の関わりについて伺う</p> <p>(2) 教職員のメンタルヘルス対策のうち保健師の活用について、次年度の取組を伺う</p> <p>2026年4月1日より、PFOS/PFOAが水道水の水質基準項目に追加されることから、那覇市(関係機関を含む)はPFOS/PFOAの検査計画・結果公表・基準超過時の対応手順についてどのように行うのか</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和8年2月19日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>大山 盛嗣 (れいわ那覇ぬちぐる)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 若者の自殺対策について</p> <p>2 ホームレス等への緊急支援と住宅の確保について</p> <p>3 中小企業への省エネ補助金の利用拡充について</p> <p>4 英語教育の拡充及び国際交流事業の推進について</p> <p>5 うちなーぐちの普及について</p>	<p>2025年の小中高生の自殺者数は全国で532人と過去最多を更新し、極めて深刻な状況にある。本市の若年者の自殺の現状と今後の対策を問う。併せて、本市自殺対策計画の数値目標に対する現時点での達成状況を伺う</p> <p>ここ数週間、住まいを失った方からの相談が続いている。単身高齢者の住宅確保も深刻な課題だ。政府の住宅セーフティネット制度の見直しを踏まえ、本市として住宅確保要配慮者にどのような基本対応と支援策を講じているのか伺う</p> <p>政府は「省エネルギー投資促進需要構造転換支援事業費補助金」（省エネ補助金）の予算約311億円を令和8年度に倍増予定だが、全国3,502件の採択に対し沖縄はわずか8件と低調。電力料金高騰の中、温室効果ガスの排出削減や、中小企業の利益確保には省エネ導入が重要であり、市として支援策を講じる考えがあるか問う</p> <p>本市は語学教育に力を入れているが、教室やタブレット中心の学習だけでは国際的人材育成は難しい。そこで、親交の深いホノルル市や福州市の小中学校とオンラインで交流し、実際に会話する機会を設けてはどうか</p> <p>また90年代以降途絶えているホノルル市への交流団派遣を再開し、実際の交流機会を設けることで学習意欲の向上につながると考えるが、当局の見解を問う</p> <p>外国語の教育と合わせて大変重要なのが、若者のアイデンティティ確立や自らの文化理解を深める“うちなーぐち”（琉球諸語）の教育だと考える。本市の学校現場などでのうちなーぐち教育の現状と今後の方策を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>6 空き家対策とリフォーム補助について</p> <p>7 赤マルソウ通りの安全性向上について</p>	<p>令和7年度に実施している「空き家等実態調査」について、外観調査や所有者意向調査の進捗と結果概要を問う。また、「住宅確保要配慮者専用賃貸住宅」への改修補助に加え、他自治体で行うリフォーム補助も空き家対策として必要ではないか、市の見解を問う</p> <p>市道赤田寒川線（赤マルソウ通り）周辺では歩行者の安全や渋滞への不安が出ている。生活道路で通学路でもあるため、市としてどのような安全対策を講じるか見解を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和8年2月19日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	<p>上原 ゆいな (なは自民・無所属の会)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 協働のまちづくりについて</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>3 NAHAマラソンについて</p> <p>4 衆議院議員選挙について</p> <p>5 保育行政について</p> <p>6 教育行政について</p>	<p>那覇市が行っている市民、企業、行政が協働する市民活動支援制度について伺う</p> <p>(1) 妊婦支援給付金について伺う (2) 児童手当の振込先口座について伺う</p> <p>NAHAマラソン開催時の緊急車両及び医療・福祉車両の経路について伺う</p> <p>今回の衆議院議員選挙の投票率について伺う</p> <p>土曜保育について伺う</p> <p>小1プロブレムについて伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、選挙管理委員長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和8年2月19日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	<p>吉里 明 (公明党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 新年度の取組について</p> <p>2 インクルーシブ教育について</p> <p>3 教育行政について</p>	<p>(1) 小中学校全体の英語教育の底上げを図るため、以前取り組んでいた教育課程特例校の再実施について提案してきたが、その後の検討状況について伺う</p> <p>(2) 小中学校において修学旅行費が年々高騰している現状を踏まえ、本市として必要な支援の検討を訴えてきた。特に、就学援助を受けている世帯への支援拡充について、検討状況を伺う</p> <p>インクルーシブ教育推進のため、これまで作業療法士を教育現場で活用することについて訴えてきた。現在の取組状況について、以下伺う</p> <p>(1) 改めて作業療法士は教育現場でどのような役割を担い、児童生徒・教職員・保護者それぞれに対して、どのような効果が期待できると認識しているのか、本市の見解を伺う</p> <p>(2) 1月の特別支援教育コーディネーター連絡会にて、初めて作業療法士による講話を実施したと聞いている その内容及び参加者の反響を伺うとともに、今回の成果を踏まえ、次年度に向けて現場での活用をどのように広げていくのか、具体的な取組方針を伺う</p> <p>(1) 生徒サポーターの役割と現在の取組状況、関わっている児童生徒の現状と課題について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>4 こどもまんなか社会の構築について</p> <p>5 次世代型ICT拠点の創出について</p>	<p>(2) 外国にルーツを持つ児童生徒の増加を踏まえ、日本語指導が十分に行き届かず、学習や学校生活に困難を抱える子どもが生じてしまうことを懸念する 本市における日本語指導協力者の配置状況と課題認識、併せて多文化共生社会の実現に向けた配置体制の拡充について、本市の見解を伺う</p> <p>子どもの貧困をはじめ、様々な困難を抱える子ども・家庭をめぐる課題は、福祉や教育、地域、保護者の就労など、複数分野にまたがる構造的な課題となっている 県内では、社会課題を構造的に整理し、見える化を通じて連携につなげる「沖縄みらい地図アクション」の取組が進められている 本市においても、こうした視点を取り入れながら、分野横断の連携をより一層強化していくことが必要であると考えますが、見解を伺う</p> <p>那覇市IT創造館については、これまでインキュベート施設として一定の役割を果たしてきたことを踏まえ、今後どのような機能・役割へと生まれ変わらせ、本市のイノベーション創出や新たな産業創出などにつなげていくのか また、GW2050 PROJECTSやグローバル人材育成との関連も含め、本市の都市戦略における位置付けと今後の方針について伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		6 平和行政について	<p>戦後100年に向け、子どもや若者を中心とした平和創出の取組として、市民との協働による新たな「平和の歌」の制作や、「(仮称)ピース・フェスタ那覇 2030」などを起点とした平和イベントを、5年ごとの節目で継続的に開催していくことを提案している</p> <p>こうした取組は、本市全体としての平和の姿勢を内外に示すものであり、平和都市・国際都市那覇としてのブランド価値を高めるとともに、次世代を育てる最高のグローバル教育としても大きな意義を持つと考える</p> <p>その意義も踏まえ、GW2050 PROJECTSとも連動させ、2045年を見据えた平和の連帯拡大に向けたロードマップを、市民とともに描いていく考えがあるか。検討状況や今後の方向性も含めて、本市の見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	<p>瑞慶覧 りか (無所属)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 医療行政について</p> <p>2 文化観光政策について</p> <p>3 那覇市こどもの権利条例について</p>	<p>施政方針において、「身近な地域で良質かつ適切な医療が受けられるまちづくり」を掲げ、救急医療や小児・周産期医療の強化、高度で専門性の高い医療の安定的提供を目指し、昨年10月に新那覇市立病院が開院した</p> <p>新病院は、市民生活に欠かせない重要な医療インフラであり、その機能を最大限に発揮させるためには、医療従事者が安心して働ける労働環境の整備が不可欠である</p> <p>新那覇市立病院における医療従事者の休憩環境や執務環境について、現状をどのように把握しているのか。現場から寄せられている課題や声も含め、市の認識を伺う</p> <p>(1) 令和7年9月定例会にて、首里城周辺の観光の回遊性向上に向け、周遊チケットの導入とキャッシュレス決済の整備を提案した。その後の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 市内の文化観光施設における多言語対応の現状と今後の取組について伺う</p> <p>現在、那覇市において、「こどもの権利条例(素案)」が策定され、公表されている</p> <p>こどもの権利条例は、こどもを権利の主体として明確に位置付け、市のあらゆる施策の根幹となる極めて重要な条例であり、内容については、今後さらに丁寧に検討を重ねていく必要があると考える</p> <p>そこで、以下について伺う</p> <p>那覇市として、本条例を、教育、福祉、まちづくりなど、市民生活に関わるあらゆる施策において、こどもの権利を尊重するための土台となる条例と考えていると思うが、条例素案の策定にあたり、関係部局との連携体制と、こどもの権利に関する専門家の知見や、他自治体における先行事例をどの程度参照してきたのか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>4 教員のメンタルヘルス対策事業について</p> <p>5 人事行政について</p>	<p>本市では、公立教員のメンタルヘルス対策として、オンライン対応を中心とした調査研究事業を3年間実施してきた。次年度のメンタルヘルス対策事業について以下伺う</p> <p>(1) 内部体制におけるプライバシーや第三者性をどのように担保するか伺う</p> <p>(2) 専門性の継続的確保、特に復職支援や重度ケースへの対応をどのように実現するか伺う</p> <p>(1) 各課の休憩室や執務室の現状について、人数や利用状況を含めどのように把握しているか伺う</p> <p>(2) 来客の集中する時間帯の休憩環境について、現状の課題はどのように認識しているか伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（1日目） 令和8年2月19日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
10	<p>西中間 久枝 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 労働行政について</p> <p>2 選挙行政について</p>	<p>(1) 「高年齢者の労働災害防止の為の指針」に関する公示が厚生労働省から出された那覇市と契約している那覇市シルバー人材センターへの取組・支援について問う</p> <p>(2) インボイス制度が始まり、2024年11月施行から1年を経過した。請負、委任契約で就業する会員がフリーランスとして扱われる。発注者・那覇市と那覇市シルバー人材センターの会員との直接契約を基本とする新たな契約形態になる。那覇市の取組を問う</p> <p>(3) 公共施設の警備員等の職場環境の改善について 私が行った2024年9月定例会や2025年6月定例会における、警備員等に対する熱中症対策の質問に対し、現在駐車場運営事業者との調整を行っているとの答弁であった。その後の対応を問う</p> <p>障がいのある方や介護が必要な方の参政権の保証について 重度身体障がい者等の郵便等投票について・点字投票、代理投票・車椅子の配置状況、口頭で事務従事者に意思を伝えていただくことが難しい方の為のツール、コミュニケーションボード等について問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		3 公園行政について	<p>ホテル等生息する末吉公園などの環境保全について</p> <p>2月14日観察会に参加をした。ホテル等の貴重な生き物が減少している状況を目の当たりにした</p> <p>末吉公園は、戦後すぐに鳥獣保護区となった、大変貴重な場所である。しかしながら、現在、これまで生息していた生き物が激減し、鳥の餌でもあるバッタ等が生息できなくなっている</p> <p>那覇市教育委員会、公園管理課、環境保全課、沖縄自然環境ファンクラブ(みんな)、草刈り等を担当する所、民間の方々が連携して、自然保護や環境保全に取り組むべきである。見解と取組を問う</p>
		4 福祉行政について	<p>(1) 那覇市障がい者福祉センターについて</p> <p>新真和志複合施設に移る予定の、那覇市障がい者福祉センターの建物が現在、雨漏りをしており、不便が生じている。早急な改修が必要である。取組を問う</p> <p>(2) 障がい者福祉施策の充実について</p> <p>障害福祉サービス等給付費に関する決算額の推移と人員体制について問う</p>
		5 観光行政について	<p>今年秋にも首里城正殿が完成予定であり、国内外から多くの観光客や修学旅行生の来訪が見込まれ、那覇市の魅力を伝える役割はこれまで以上に重要となる那覇街角ガイドは、観光客や修学旅行生のガイドを行っており、那覇市の観光ガイドを支えている</p> <p>支援を行うべきである。見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>6 道路行政について</p> <p>7 公民館行政について</p>	<p>那覇市金城町2丁目(一中健児の塔入口バス停付近)地域住民の方より、地域で家族や、住民の高齢化が進み、救急車、介護車両等も入れない地域で生活に困難を強いられている。高齢になっても地域で暮らせるよう道路の整備が強く求められている。那覇市の見解を問う</p> <p>私は、2023年6月定例会、そして2024年11月定例会において、地域の拠点である首里公民館の音響設備を含む施設改修、さらには災害時に避難所となる同施設の早期大規模改修を求めてきた。2024年11月定例会において部長より「首里公民館・図書館の大規模改修は、屋上の防水、外壁の塗装などの工事及び老朽化した設備の改修工事を行います。工事期間は令和7年7月頃から令和8年3月末を予定しております。準備期間を含めた令和7年5月頃から令和8年5月末頃まで公民館・図書館の休館を予定しております」公民館利用者地域住民団体を対象に改修工事の説明会を予定しているとも答弁があった</p> <p>説明会も含め、音響設備を含む施設改修及び大規模改修の具体的な進捗状況を問う</p> <p>【答弁を求める者】 教育長、関係部長、選挙管理委員長</p>